



助成制度は、これまで15

子ども医療費助成

医療費助成も拡充を歓迎する

8月から枚方市

小林裕次郎 (枚方市)

枚方市の子どもの医療費助成制度は、これまで15歳までの子ども(15歳に達した最初の3月31日まで)を助成対象としていたが、今年8月診療分から対象年齢が拡充し、18歳までの子ども(18歳に達した最初の3月31日まで)の医療費が助成されることとなった。高校卒

談話室 だんわ室

は、府内で34番目の実施のようだ。枚方市の子どもの医療費助成制度の拡充を心から歓迎する。物価高騰、また消費税10%の重みによる負担の大きさを感している。特に子どもさんのいる家庭などでは食費、教育費、医療費など生活にかかる費用が重くのしかかっているのではないだろうか。このような中で、医療費助成が拡充すること



は非常に重要だ。患者さんが受診したいと思った時にお金のことのためらうことがないよう、どの自治体でも制度の拡充が進むことを望む。

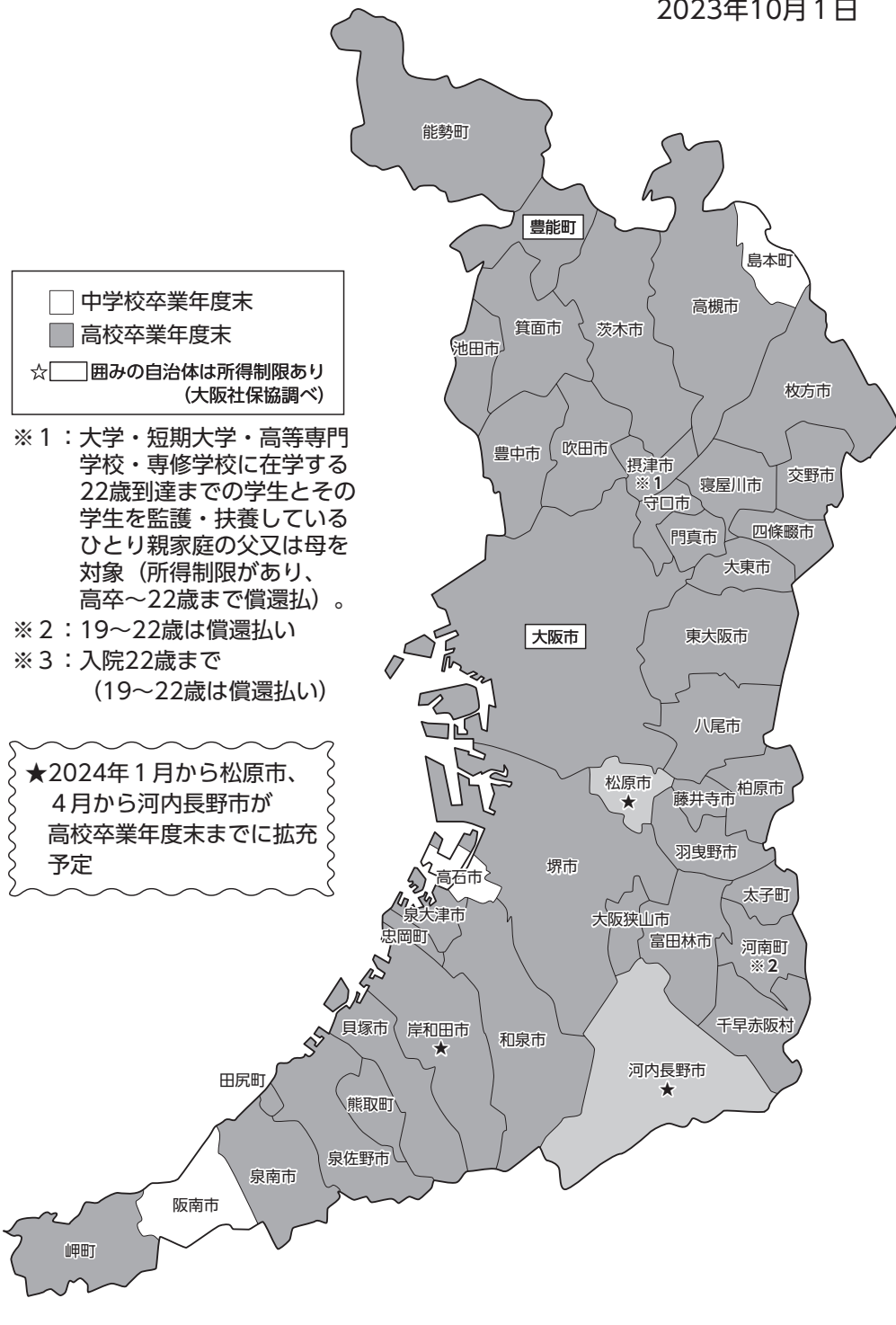
子ども医療費助成

府内37自治体が「18歳まで」決定

8月から枚方市、10月から岸和田市、来年1月から松原市、4月から河内長野市

おおさか「子ども医療費助成制度」MAP

2023年10月1日



- 中学校卒業年度末
- 高校卒業年度末
- ☆ □ 囲みの自治体は所得制限あり (大阪社保協調べ)

- ※1: 大学・短期大学・高等専門学校・専修学校に在学する22歳到達までの学生とその学生を監護・扶養しているひとり親家庭の父又は母を対象(所得制限があり、高卒~22歳まで償還払)。
- ※2: 19~22歳は償還払い
- ※3: 入院22歳まで (19~22歳は償還払い)

★2024年1月から松原市、4月から河内長野市が高校卒業年度末までに拡充予定

8月から枚方市、10月から岸和田市、2024年1月から松原市、2024年4月から河内長野市が子ども医療費助成を「18歳に到達する年度末」までに拡充する。助成が拡大する一方で、窓口負担無償化が課題となっている。全国で6割超の市町村が無償化を実現しているが、大阪府では2023年8月時点で無償化を実施している市町村はない。しかし、2023年春の統一地方選挙で4期目の当選を果たした高槻市の濱田剛史市長は、府内で初の窓口負担無償化を公約しており、実現が期待されている。協会は対象拡充と窓口負担の無償化を求めて要請を続ける。

保団連近畿ブロック オンライン政策学習会

維新政治の「いま」を考える

—夢洲へのカジノ誘致問題を手がかりに—

日時 9月16日(土) 午後3時から午後5時

講師 桜田照雄氏 (阪南大学流通学部・教授)

※ウェビナーを使ったオンライン限定の学習会です。WEB参加のお申し込みは2次元コードから申込フォームにアクセスください。



参加費: 無料
お問い合わせ: TEL06 (6568) 7731まで

第41回 保険医 囲碁大会のご案内

日時 9月24日(日) 正午~午後6時20分 (終了後、懇親会)

会場 保険医協会「M&Dホール」

内容 ①有段者クラス ②級位者クラス ③入門教室 ※いずれも必ず事前にお申込みください

参加費 大会参加: 3千円、懇親会参加: 2千円 入門教室: 無料 (入門セットも進呈)

申込 WEBまたはFAXで囲碁担当・橋本隆まで ※事前申し込みが必要ですのでご注意ください

※お申し込み時には棋力(入門教室の場合は不要)と懇親会参加の有無をご記入ください

※入門教室は事前に参加希望の時間帯もご連絡ください。なお入門教室参加者は途中入退室が可能です



大会参加フォーム

大阪社保協キャラバン始まるー寝屋川市

成人歯科健診 パノラマも

協会も参加する大阪社保協推進協議会(大阪社保協)が、今年度の自治体交渉を開始した。府内各自治体に要望書を送り、回答を得た上で、各担当課に対し交渉に取り組んでいる。8月9日、寝屋川市社保協が寝屋川市に対し、交渉を実施。協会から事務局が参加した。

中学校給食の無償化

寝屋川市では、中学校は無償だが小学校は12月までと期限が決まっている。「なぜ小学校は期限付きなのか」との質問に、「そもそもは、コロナ対策として小学校給食の無償化が実行されてきた。5類移行によって理由が解消される」と回答があったが、「ぜひ無償化を進めてほしい」と強調した。

高すぎる国保料の問題 寝屋川市は医療費に比べて保険料が高い。高額な国保料の原因は、府が進めている統一保険料化

学校歯科健診後の未受診問題

寝屋川市では、小学校で53%、中学校では68%が未受診だと回答している。寝屋川市では10本以上のむし歯がある事例を調べていない。10本以上むし歯がある子どもは、家庭に何か問題があることが推測され、「あらゆる角度から子どもたちの

成人歯科健診

寝屋川市は30~74歳まで5歳刻みで実施している。受診率は9・2%で、3000人前後。費用が1000円かかる。自己負担がある他の自治体でも5000円。1000円かかる寝屋川市は突出していると伝えると、市は「自己負担の内容は検討していきたい」と回答した。3000人で5000円下げて1500円くらい。ただ、パノラマを撮れるようにしているから費用を高く設定していると、理由を語った。

(関連3面)